

# 糖尿病・代謝・内分泌内科

## ●スタッフ（平成28年10月1日現在）

診療科長 小田原 雅人

医局長 伊藤 祿郎

病棟医長 志熊 淳平

外来医長 簡 健志

医師数 常勤 23名

非常勤 4名

## ●診療科の特徴

肥満者および糖尿病患者数の増加に伴い、糖尿病合併症の発症予防・進展抑制のため早期からの食事および運動などの生活習慣是正、体重コントロール、薬剤などによる介入が重要となっています。また、診断技術の向上、疾患への理解が深まったこともあります。下垂体病変の早期発見、甲状腺や副腎疾患への適切な対応、骨代謝への介入などが行われています。当科は日本糖尿病学会、日本内分泌学会、日本甲状腺学会、日本肥満学会の認定施設であり、肥満症やメタボリックシンドローム、糖尿病、脂質異常症を含む代謝性疾患、内分泌疾患に関して、発症予防から、診断および治療、将来的な合併症進展抑制までのトータルケアを多職種で迅速に対応しています。そして医療連携を通じて社会に貢献できるよう取り組んでいます。

## ●診療体制と実績

当科は糖尿病のみならず、肥満や内分泌疾患など幅広く対応しております。各学会の専門医および指導医を擁しており、個々の患者に最適な医療を提供しています。

当科が守備範囲とする疾患群では合併症の問題から全身を診察する必要があります、関連する他科との連携が良好に行われています。また、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、臨床検査技師などの多職種よりなる糖尿病療養指導士、糖尿病看護認定看護師、フットケア指導士をはじめとしたスタッフとともにチーム医療を推進しています。

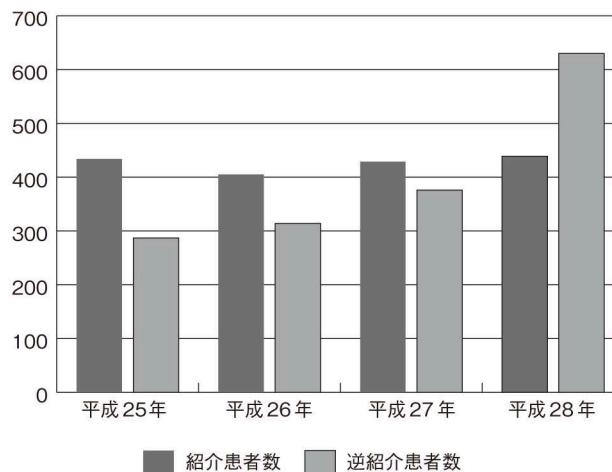
医療連携を通じてご紹介いただいた初診患者は、初診担当の医師による迅速な対応を行っています。当科通院中の患者数（外来再診患者数）は糖尿病患者が最も多くなっており、基本的に良好な血糖コントロールを示す患者は医療連携により地域医療の枠組みでの医療継続をお願いしています。糖尿病治療はインスリン療法などの専門的な治療が必要と考えられる患者の比率が高くなっています。

平成28年度糖尿病・代謝・内分泌内科外来患者数  
(括弧内は平成27年度実績)

初診患者数	683人（593人）
再診患者数	32,168人（3,1826人）

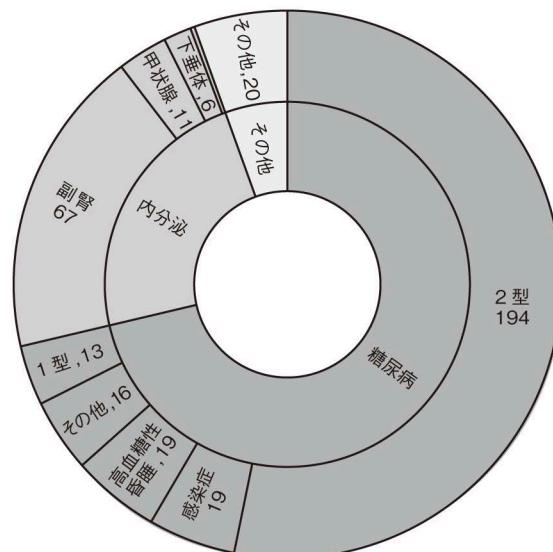
## 平成28年度 糖尿病・代謝・内分泌内科外来患者数

平成27年度と比べ、初診および再診患者数の増加を認めています。



## 紹介患者数と逆紹介患者数の推移

医療連携を通じて、病院機能に応じた適切な診療を行うように努めています。



## 入院患者の疾患別内訳

数字は入院患者実数を示しています。